

□ 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の【1】【2】【3】…は形式段落番号です。

【1】 * 孔子^{こうし}大先生はいいいます、古典^①を学ぶと楽しいよ、と。対して、* 扁^{へん}じいさんはいいいます、古典なんて学んでも、何の役にも立たないよ、と。^A
□ I 、そういう二つの考え方もあるんだということを、わたしに教えてくれたのも古典なんですよ。ね。
皮肉^{ひにく}というほかありません。

【2】古典なんて古人の卡斯だ。そのカスをありがたがって教えている古典の先生はカスのなかの卡斯だと、二十歳^②のわたしは、この部分を読んで苦笑^{くしやう}しました。当時は、古典を学ぶ大学生だったのですけれど。しかも、教員志望の。

【3】わたしは、純朴^{じゅんぱく}な文学青年ではなかったので、悩み^{なや}はしませんでした。が、それから^③というもの、本を読むことについての考えを新たにしました。読んだ事柄^{ことがら}について自分がどう受け止めるのか、それがもっとも大切なことである、と思^{おも}い至^{いた}るようになった。一番^④大切なのは、「今」と「自分」なんです。* 『論語^{ろんご}』為政^{いせい}第二では、このことについてこういっています。
* 拙訳^{せつやく}で示^{しめ}してみましよう。

孔子先生は言った。本や先生から学んだとしても、自分で考えてゆかなければ、生きてゆく^⑤道^{みち}など知り得ないだろう。けれど、自分で考えるだけで、学ぶところがなければ、道から外れて危険だ、と。

〔論語〕 為政第二

【4】 □ II 孔子は、学んでも自分で考え^Bないと、勉強する意味が無いよ、といたいのでしょう。もちろん、他人や本から学ぶ姿勢を忘れては危険だから、両方がひつようである、といているのです。

【5】 以上のように、わたしは考えていますので、大学で行っている古典の授業では、こう言っています。古典だから素晴らしい^{すば}いのではない、その古典を読んでおもしろいとか、たのしいと思う「今」と「自分」が素晴らしいのだ、と。美味しい料理は素晴らしいものかもしれませんが、味わうのは「今」の「自分」の舌^{した}です。ご馳走^{ちそう}だって、体調が悪いとまずく感じられま^すすよね。

【6】 Ⅲ、どんなに鏡が高価でも、姿^⑤を映そうとする人がいなくては、鏡としての価値は存在^⑥しないのと同じです。古典は、今を映す鏡ですが、同じことがいえるのです。つまり、古典^⑦を学ぶ人は、「自分」が「今」読んでいるんだということ^⑧を強く意識して、読んでほしいのです。そうしないと、古典は過去の人間の残した単なるカスやゴミと同じになります。

(上野誠『おもしろ古典教室』)

*1 孔子：紀元前五五一年誕生、紀元前四七九年死亡。古代中国の偉大な思想家。孔子および孔子の弟子たちの言行録が『論語』である。

*2 扁じいさん：中国の古典中の古典『莊子』に出てくる登場人物。

*3 『論語』：孔子の教えを知るための最も基本的な文献。

*4 拙訳：つまらない現代語訳。ここでは、自分の現代語訳をへりくだって表現している。

問1 Ⅰ Ⅲ に入る適語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア たとえば イ つまり ウ また エ なぜなら オ でも

問2 Ⅱ A～Dの「ない」について、品詞の異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問3 Ⅲ ①「道」について、どのような意味で使われていますか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 道程 イ 道路 ウ 道筋 エ 道理

問4 Ⅳ ②「古典を学ぶ人は、「自分」が「今」読んでいるんだということを強く意識して、読んでほしいのです」について、これと関係の深い四字熟語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 暗中模索 イ 晴耕雨読 ウ 温故知新 エ 試行錯誤

問5 Ⅴ ③「古典を学ぶと楽しいよ」と孔子は述べていますが、古典を学習するときの心がまえとしてどうすることが大事だと孔子は述べていますか。次の文の Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ にあてはまる部分を【1】～【4】段落中からぬき出して答えなさい。

Ⅰ X (8字) ことも大事だが、

それ以上に Ⅱ Y (6字) ことが大事である。

問6 — ②「二十歳のわたしは、この部分を読んで苦笑しました」とありますが、苦笑したのはなぜですか。40字以上50字以内で説明しなさい。

問7 — ③「それから」とは、いつからですか。適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 純朴な文学青年ではなくなったときから。

イ 悩むことをやめたときから。

ウ 『莊子』を読んだときから。

エ 古典の教員を志望したときから。

問8 — ④「一番大切なのは、「今」と「自分」なんです」について、説明しているものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 古典を読むときには、ただ読むのではなく、積極的に何かを感じながら読むことが大事である。

イ 古典を読むときには、古人の教えを学んだうえで、現在必要かどうかを考えながら読むことが大事である。

ウ 古典を読むときには、過去と現在の相違点を見きわめながら読むことが大事である。

エ 古典を読むときには、昔の生活を知るだけではなく、過去の視点をもつて読むことが大事である。

問9 — ⑤「姿を映そうとする人」とは、どういう人ですか。適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 今の自分の表情を正確に見ようとしている人。

イ 今の自分の考えをはっきり認識しようとしている人。

ウ 古典を読んでその価値を探ろうとしている人。

エ 古典を読んで古人の姿をとらえようとしている人。

問10 この本文を読んだ後に、百人一首を暗唱する意味についてクラスで話し合いました。次のア～エは出された意見です。筆者の意見に最も近い意見を選び、記号で答えなさい。

ア 百人一首を暗唱する意味はよくわからないけど、これだけ長い間日本人に愛されてきたのだから、大人になった時に暗唱した意味を理解できるはずね。だから、暗唱するのは大変だけど、がんばって覚えるわ。

イ わたしは百人一首を暗唱するとき、どういう状況で詠まれたのか、その時代の人たちはどんな生活をして何を考えていたのか確認しながら、歌を覚えるようにしているの。先生は、「昔」を身近に感じて欲しいから百人一首の暗唱をさせているんじゃないかなあ。

ウ ぼくは百人一首を暗唱するとき、切ないなあ、とか自分ならこう思うのに、と感じながら覚えるようにしているんだ。ただ、覚えるより、印象に残るから、自然と覚えられるよ。先生は、私たちの考え方や生活を振り返らせるために、百人一首を暗唱させているんだと思う。

エ ぼくは、百人一首を暗唱するのは日本人としての常識を身につけるためだと思う。実際、百人一首を知っていたおかげで、百人一首の試合を通して、友だちを作ることができたんだ。だから百人一首は日本人として知っておくべきだね。

□ 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。なお、本文中の【1】【2】【3】…は意味段落番号です。

【1】三十八歳になる*1調律師のるみ子さんは、依頼されたピアノの*2チューニングを、いつも一音、わずかだけ外しておきます。

鍵盤中央の*3A音。客にはまったく聞き分けられないほどのほんのわずか。仕事が終わると、まあ、新品にでもなったみたい、客は晴れやかな笑みで、るみ子さんの手をとろうとする。そしてはっとします。手袋をはずしたるみ子さんの右手には、ひとさし指となか指がありません。るみ子さんは腰をかがめ、時計の針のようなお辞儀をすると、道具かばんを提げて玄関を出て行きます。

事故に遭う前から、るみ子さんの耳は評判だった。音楽大学の発表会で、ピアノ曲の演奏途中、突然曲をやめ、黙々と調律をはじめたことがあります。十年前に手指を失い、調律師の職に就きました。ピアノを置く家は、以前とくらべ少くはなりましたが、仕事の注文が途絶えることはありませんでした。穏やかそうな容貌とたしかな耳、そして、①「いつの間にか調整が必要となる」ピアノのチューニングのおかげだったと言えます。

【2】とある週末、紹介をうけて、街はずれの邸宅を訪ねました。まるで公園のようにえんえんと塀がつづき、やっとたどりついた玄関には、白髪の小柄な老人がひとり、黙りこくって立っていました。口を結んだまま廊下を進み、じゅうたん敷きの居間に入ると、年季の入ったグランドピアノを指さします。るみ子さんはひとつうなずくと*4音叉を出し、調律をはじめました。老人は杖を突き、居間を出たり入ったりしています。どうやら目がほとんど見えないようです。

三十分ほど経ったでしょうか、るみ子さんは老人を振り向き、

「終わりました」

と声をかけました。老人は立ち止まり、

「あなた、ご冗談でしょう?」

とこたえました。

「ぜんぜん音がちがっていますよ」

②るみ子さんは頬を打たれたような表情になり、今度は慎重に、きわめて念入りに音を合わせました。鍵盤中央のA音もです。

「これでいかがでしょうか」

「お話になりませんな」

③老人は細い肩をすくめていいました。

「腕のいい方と伺っていましたが、どうやらなにか手違いがあったらしい。ピアノはそのままにして、どうぞお帰りください。時間分の手間賃はお支払いしますから」

「でも」

るみ子さんはまっ赤になって、

「音は全部合っていますよ」

「そういう問題じゃない」

老人は首を振って、

④「これじゃあピアノがかわいそうです。あなたは本当のところ、ピアノのことが、あまり好きではないようですね」

【3】⑤憤然として、るみ子さんは帰ります。それから何日も雨がつづきました。仕事に出てもピアノの音が、なんだかくもって聞こえます。首根っこが重く、食欲もない。るみ子さんは三件つづけて注文を断りました。屋根をぼつぽつと叩く雨音が家じゅう

うに響きます。

薄曇りの夕方、洗濯物を取り込んでいるときドアベルが鳴りました。郵便配達が、請求書の束と小包をひとつ、るみ子さんに手渡します。小包の差出人には見覚えがない。包装紙を破るとなにやら香ばしい匂いが漂ってきます。添えられた手紙を開いた途端、るみ子さんは大きく息をのみました。

十年前のお礼から、その手紙ははじまっていた。あの転覆した電車のなかで、見ず知らずのあなたに助けていただいて、まだ小学生だった私は、ろくにお礼もいえませんでした。お怪我はだいじょうぶだったでしょうか。私のやけどはその後なんとか安定し、今年の春、調理師の免許をいただくことができました。ゆうべチョコレートケーキを焼きました。いま私ができるせめてものお礼です。スポンジのつなぎにちよっぴり工夫を凝らしてあります。これから新作ができるたびお届けしようと思います。もしご迷惑ならば二度とお送りはしません。ほんとうに、ほんとうにありがとうございます。

るみ子さんは手紙をとじ、ケーキを冷蔵庫にしまいました。元来、甘いものが好きではないのです。夜中になっても寝付けず、るみ子さんはステレオの前に座り、古いレコードをとりだしました。学生のことよく聞いたピアノソナタ。一枚が終わると、また別のレコードをかけました。久しぶりに聞くその音は、以前と同じく、きらきらと光を振りまくように聞こえました。それでいて、どの演奏のピアノも、すべて、それぞれがちがう輝きを放っているのです。三枚目をかける前、るみ子さんは冷蔵庫をあけ、チョコレートケーキをつまみました。四枚目、五枚目とかけているうち、窓から朝日が覗きました。皿のケーキは半分以上なくなっていました。

【4】お昼過ぎ、道具箱をもって、例の邸宅をまた訪ねます。目の見えない老人は少し驚いたようでしたが、何もいわず、るみ子さんを居間へと通しました。るみ子さんはピアノの前からかがみこみ、音を合わせはじめました。他のピアノにはない響き、それぞれの音が見せる表情を、一瞬でも聞き逃すまいと息をひそめて。ピアノのささやきは、はじめはおずおずと、そのうち

大胆に、彼女の耳に流れこんできました。

やがてるみ子さんが、最後のA音をポロンとはじくと、老人は朗らかな声で、

「ああ、うちの音だ、やっとうちのピアノの音になった！」

視力のない目に深い笑みを浮かべて、

「あなたはまったくすばらしい腕ですね。もしよろしければ、なにか一曲、聞かせていただくわけにはまいりませんか？」

るみ子さんは軽くうなずきました。そして指の足りない両手で、子ども時分に習った短い練習曲を、軽やかに奏ではじめました。

(いしいしんじ「調律師のるみ子さん」)

*1 調律…鍵盤楽器や打楽器の音を標準の音に合わせること。

*2 チューニング…調律のこと。

*3 A音…ラの音。

*4 音叉…調律のときに利用する道具。

問1 〰〰〰(a)〰〰(c)の語句の意味として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 腹を立てること。

イ おどろく様子。

ウ 不信感や不満を抱く様子。

エ がっかりする様子。

オ しりごみすること。

問2 【1】〰【2】段落において、るみ子さんにとって、調律師の仕事はどのようなものと読み取れますか。適切なものを次

から選び、記号で答えなさい。

ア 名声を得るための仕事。

イ 生きがいを得るための仕事。

ウ 生活費を得るための仕事。

エ 信頼を得るための仕事。

問3 ①「いつの間にか調整が必要となる」について、なぜ調整が必要となるのですか。答えの形が「：いるから。」となるように、【1】段落中から35字以内でぬき出し、最初と最後の5字で答えなさい。

問4 ②「るみ子さんは頬を打たれたような表情」になったのはなぜですか。適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 音がちがうと言われ、いい加減な仕事をしていた自分に恥ずかしさを感じたから。

イ ほんのわずかな音の違いを老人が聞き分けたことにとても驚いたから。

ウ 一生懸命取り組んだ仕事を思いきり否定されて悲しくなったから。

エ わずかな音のちがいを「ぜんぜんちがう」と言われ怒りがこみあげてきたから。

問5 ③「あなたは本当のところ、ピアノのことが、あまり好きではないようですね」とありますが、本当にピアノが好きならどのように調律しますか。本文中の語句を使って30字以上40字以内で答えなさい。

問6 ④「添えられた手紙」は具体的にどこからどこまでですか。最初と最後の5字をぬき出しなさい。(句読点をふくむ)。

問7 ⑤「学生のところよく聞いたピアノソナタ」について、手紙を読んで、なぜピアノソナタを聞こうと思ったのですか。適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 学生のところからピアノソナタはいつも悲しみをいやすためによく聞いていたから。

イ 演奏家をめぐってがんばっていた学生のところのように、調律師として努力していきたいと決意したから。

ウ 事故にあったつらい記憶を思い出したので、自分が好きだった曲を聞いて心を落ち着かせようと思ったから。

エ 手紙の差出人と同じ年頃の自分もっていた、ピアノへの情熱や気持ちを思い出そうとしたから。

問8 ⑦「チョコレートケーキをつまみました」について、このときの気持ちとして適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 手紙の差出人の謝罪を受け入れる気持ち。

イ 手紙の差出人の腕を試めようとする気持ち。

ウ 手紙の差出人の気づかい・工夫を喜ぶ気持ち。

エ 手紙の差出人とともに未来を夢見る気持ち。

問9 本文の表現上の特徴を説明したものととして適切なものには○、不適切なものには×と答えなさい。

ア 「白髪の人」の白色、「チョコレートケーキ」の茶色など、色によって登場人物の人物を読み取ることができる。
イ 「ピアノの音」「雨音」や「レコードの音」など、音によって、るみ子さんの心情を読み取ることができる。
ウ 「雨」や「朝日」など、天気によって、るみ子さんの心の明暗を読み取ることができる。
エ 優しく語りかけるような文体によって、非現実的な話を本当にあったかのように感じさせることができる。

Ⅲ 次の各問いに答えなさい。

(Ⅰ) ①～⑩のカタカナを漢字で答えなさい。

- ① 宮殿のアト。
- ② アトから行く。
- ③ 波がアラい。
- ④ きめがアラい。
- ⑤ 葉がキク。
- ⑥ 機転がキク。
- ⑦ 人質をカイホウする。
- ⑧ 校庭をカイホウする。
- ⑨ 音楽をカンショウする。

⑩ 花をカンショウする。

(Ⅱ) 次の①～③の□に入る言葉を漢字で答えなさい。

- ① □をそろえる。(意味：お金を全額用意すること。)
- ② 目から□へぬける。(意味：とても利口であること。)
- ③ □牙にも懸けない(意味：全く問題にしないこと。)

(Ⅲ) 次の作品を古い順にならべかえて、記号で答えなさい。

- ア 悲しき玩具
- イ 日本永代蔵
- ウ 万葉集
- エ 方丈記
- オ 小僧の神様

III

I

問 4

問 4

	Y

Y

[illegible]

40 20

問
10

問 9

問
10

c

c

[illegible]

(

いるから

1

A blank coordinate grid with a vertical axis labeled 30 and 40, and a horizontal axis labeled 1. The grid consists of 10 columns and 10 rows of squares.

A diagram showing a horizontal line segment divided into two parts. The left part is labeled '40' and the right part is labeled '20'.

--	--	--	--	--	--

5

問
8

問
8

I

I

⑤	
---	--

5

①	
②	
③	

3

↓ ↓ ↓ ↓

1		
1		
1		

得点	
----	--

受験番号		氏名	
------	--	----	--